

# 文化交流部会のミニバスハイクが行われました 茨城の秋を感じる、盛りだくさんの旅

杉本裕子（文化交流部会）

毎年好評の文化交流部会主催ミニバスハイクが10月31日（土）に行われました。昨年も参加のご夫婦やご家族・友達同士、また中国・ペルー・ブラジル・フィリピンなどの出身者11名を含む42名が朝、元気よくバスに乗り込みました。今年は茨城県に足をのぼし、めんたいパーク、産業交流フェア、海浜公園、ビール工場と盛りだくさんの旅程です。

最初の見学先は「めんたいパーク大洗」。明太子専門のテーマパークです。明太子は福岡の生産が中心ですが、できたてを関東のお客様に届けたいとの熱い思いから「めんたいパーク大洗」が誕生したそうです。たくさんの明太子の土産物をはじめ、明太子を使ったおにぎりやソフトクリームを食べることのできる軽食コーナーがありました。秘伝の漬け込み・熟成タレで味付けした「辛子明太子」の試食もあります。ちなみに2年前にはお寿司の試食がありました。

次はひたちなか市の秋の一大イベント「ひたちなか市産業交流フェア」です。とても広い会場では、たくさんのブースが通路の両脇ズラリと並び、食べ物のブースには暖かそうな湯気と美味しそうな匂いが立ち込めていました。丁度昼食時で、多くの人の行列があらこちらにできていました。会場の一角に、ひたちなか市国際交流協会のブースがありました。協会の活動をアピールするため、写真の展示やチャリティーバザーを行っていました。ここでの売り上げは全額寄付されるそうですが、私は木彫りのきれいな色の鳥やチョコを買ってしまいました。

もっと見たい、もっと食べたい、もっと買いたいと産業交流フェアに未練を残しつつ、次の目的地の「国営ひたち海浜公園」へ向かいました。この公園は春夏秋冬花が楽しめる



左上：ひたちなか市国際交流協会のみなさん。右上：事務局長もちゃんと試食。左：コキアの丘。下：最後の訪問先のビール工場で。



ところで、秋はコキアとコスモスです。それらが花壇というより丘、それも丘全体がコキアとコスモスで埋め尽くされていました。コキアは和名ほうき草。昔は茎を乾燥させてほうきを作ったそうです。真っ赤に紅葉する秋のコキアはもちろんですが、夏の若草色のコキアも一見の価値ありです。色とりどりに咲き乱れるコスモスも風に揺れる華奢なイメージでなく、壮観でした。

最後はビール工場見学。土曜日だったため見学コースにある設備などは稼働していませんでしたが、ビールを発酵したり、貯蔵したりする大きなタンクを見て、なんとまあたくさんのビールが飲まれているのだろうと感心してしまいました。ビールをおいしく楽しむには、つぎかたの工夫、清潔なグラス、適温（6~8度）、新鮮さ、涼しい場所での保管が大切だそうです。できたてでクリーミーな泡が

たっているビールの試飲は3杯までOKでした。一行はほろよい気分でバスに乗り、帰路につきました。

ミニバスハイクを主催してくださった皆様・参加者の皆様・バスの運転手さん、おかげでなごやかで楽しい旅ができました。ありがとうございました。